



証券コード:6943



第73期中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

NKKスイッチズ株式会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

在庫調整が進み、市況は緩やかに回復傾向に。 中期経営計画Ⅱで次のステップへ。 「顧客価値の向上」を目指します。

代表取締役社長

大塚智成



この半年間の産業用スイッチ業界の状況と業績の概況から伺います。

当上半期の世界経済におきましては、物価上昇の継続に加えて景気減速懸念、地政学リスク等から先行き不透明感が強まっております。日本経済におきましては、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、産業用スイッチ市場においては在庫調整が進み需要は緩やかな回復傾向にあります。

こうした環境の中、当社グループは2025年度から3カ年の中期経営計画Ⅱをスタートいたしました。日本市場においては、特定市場のリーディングカンパニーを中心にお客様との関係強化に取り組むなど、積極的に施策を展開しました。欧米市場においては、オンライン広告の強化やリーディングカンパニーへの訪問を通じて顧客接点を拡大し、顧客のニーズを確実に捉え、特定市場の深耕を図る施策を積極的に展開いたしました。アジア市場においてはリーディングカンパニーとの関係強化や新たな関係構築を意識した活動強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの2026年3月期中間期における売上高は3,868百万円(前年同期比2.5%減)、営業損失は

20百万円（前年同期は15百万円の営業利益）、経常利益は58百万円(前年同期比608.4%増)となりました。

中期経営計画Ⅱがスタートしました。 重要テーマの取り組みをお聞かせください。

2025年4月からスタートした3カ年の中期経営計画Ⅱは、「信頼」と「納期」を重点テーマに置いた中期経営計画Ⅰを引き継ぐ中で、次のステップとして「顧客価値の向上」を目指す計画です。当社グループの商品は生産財であり、単独では成り立ちません。そのため我々の商品を通じてお客様の商品価値を上げ、顧客の得られる利益や満足感を向上することを目指しています。顧客価値を向上するために、「特定市場の深耕」と「生販一体の供給体制構築」を重点テーマとしています。

「特定市場の深耕」では、日本および米国市場において狭くても深く掘り下げた市場を獲得する戦略のもと、「特定市場」と定めてリソースを集中し、当上半期は、特定市場のリーディングカンパニーを中心にお客様との信頼関係の構築により関係性を太くすることで、お客様のニーズを当社が迅速かつ正確に把握するために、FAE（技術営業）を活用し早期に

叩き台となるサンプルを作成する手法を開発し展開いたしました。形になった「モノ」をお客様が目にする事で、具体的な助言をいただくことができ、お客様との親密度が増し、それが再訪率や受注率の向上につながっています。

また「生販一体の供給体制構築」では、中期経営計画Ⅰでは納期のボトルネックになっていた部品に注目し、金型の更新や修理、新規金型製作などを大幅に強化しましたが、商品をタイムリーにお客様に供給するためには生産だけではなく販売と一体となることが必要であり、中期経営計画Ⅱでは、PSI（Production、Sales、Inventory＝生産・販売計画・在庫）管理の導入を進めています。当上半期は起点となる販売予測の精度向上に取り組んでおります。具体的には売れ筋上位機種を抽出し、12ヵ月先までのフォーキャスト(需要予測)情報を毎月置き換え、そしてフォーキャスト情報と実績を毎月モニタリングすることにより販売予測的中率向上を目指しています。現時点ではトライ＆エラーの段階ですが、3年間で成果を出したいと考えております。

社外パートナーとの技術協業について、事例を教えてください。

時代が「もの」から「こと」へ変わっている中で、当社グループもスイッチを売る企業から技術も売る企業に変革する必要がありますと考えています。当社グループは70年という歴史の中で接点技術や機構技術をはじめとする技術を磨き、これらをスイッチに特化して投入してまいりましたが、リレーやコネクタにも接点があることを考えれば、スイッチに限る必要はありません。またお客様のニーズは多様化してきており、お客様が要求する技術が我々にはないのであれば、社外パートナーと協業することにより、複数の技術を融合しソリューションを提供することで、お客様の顧客価値の向上につながります。すでに日本と米国市場においてこうした取り組みを始め

ており、我々のスイッチ技術と音声技術や無線技術と融合させたソリューションを提案し、高い評価を得始めています。

下半期の市場環境について、どのような見通しをお持ちですか。

下半期につきましては、基本的に緩やかな市場回復が維持されるものと予測しております。在庫のダブつきがほぼ解消されており、短期間に大きく変動する可能性は低いものと思われます。市場は力強いとまでは言えないものの、現時点では期初に立てた売上計画を達成できるものと見ております。

市場環境に関して目下最大の懸念事項は、米国の関税政策です。米国による広範囲かつ大規模な相互関税の適用は、世界全体の貿易を大きく損なう危険があります。製造業に関して言えば、米国内だけで完結するものはほとんどありません。その証拠に当社は北米販売において関税増加分を航空券の燃料費と同様に追加料金（サーチャージ）をかけて販売しておりますが、競合会社の全てが同様な策を講じているのも事実です。当社グループとしてはできることを着実に取り組んでまいります。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。


当社グループの当上半期の業績は、やや厳しい結果になりました。しかしながら全体的な受注状況は、2024年1月をボトムに緩やかに回復していることは事実であり、下半期に急変する可能性は低いと考えております。当社グループとしては、今期よりスタートさせた中期経営計画Ⅱのもと顧客価値の向上を着実に実現し、さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

かわさきSDG s パートナー


当社グループは、2025～2027年度中期経営計画において、2027年のあるべき姿の一つに「この地域社会にあって良かったと思われる企業」を掲げています。

この実現のため、川崎市がSDGsの達成に向けて取り組む企業・団体を登録・認証する「かわさきSDGsパートナー」に申請し、本年7月24日に登録証を頂きました。一過性のイベント形式ではなく継続性をもって、グループ全体で、身の丈に合った「地域貢献」から始められることとして、本年下半年からは、より具体的な活動として、地域の「クリーンナップ作戦」等の活動を推進していく予定です。地元住民の安心・安全向上に寄与するとともに、地域との信頼関係を深め、社会的責任を果たしてまいります。

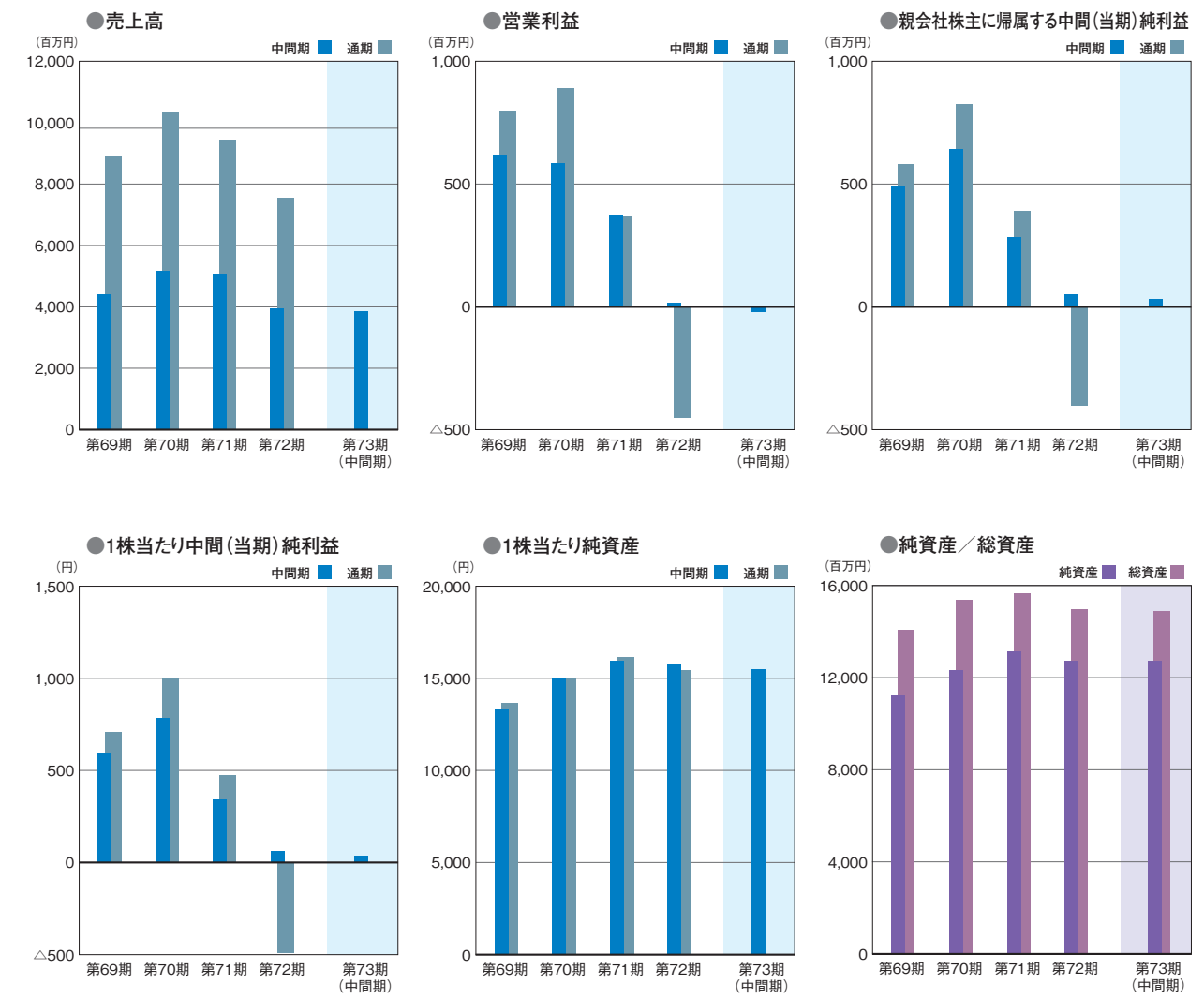


ガバナンス・コンプライアンス強化

当社グループは、国内外の関連法令・規制等のコンプライアンスを遵守するため以前よりコンプライアンス教育等を強化しておりますが、近年、会社を取り巻く環境は激変し、ある事象をきっかけに長年蓄積してきた信頼が大きく崩れ会社存亡の危機に立たされる可能性が高まっているため、取締役会直下に取締役会より委嘱を受けたガバナンス委員会を新設し、ガバナンス体制の強化とあわせて当社グループ全体のコンプライアンス遵守状況も監視・監督しております。またさらなる充実を図るため、コンプライアンスポリシーをウェブサイトで公開し、外部機関と連携した匿名・第三者対応の内部通報窓口も同サイト上に公開いたしました。今後も継続的なモニタリングと第三者評価を通じて、ガバナンスの透明性向上に努めてまいります。



主要財務データ（連結）



■ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	当中間 連結会計期末 (2025年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,142,458	9,413,863
固定資産	5,716,353	5,560,772
有形固定資産	3,081,930	3,170,034
無形固定資産	594,151	509,332
投資その他の資産	2,040,271	1,881,405
資産合計	14,858,812	14,974,635
負債の部		
流動負債	1,353,207	1,514,606
固定負債	769,991	757,586
負債合計	2,123,199	2,272,192
純資産の部		
株主資本	10,922,640	10,923,691
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,300,448	9,301,498
自己株式	△162,912	△ 162,912
その他の包括利益累計額	1,811,473	1,777,138
その他有価証券評価差額金	677,076	589,389
為替換算調整勘定	1,134,397	1,187,748
非支配株主持分	1,498	1,613
純資産合計	12,735,613	12,702,443
負債純資産合計	14,858,812	14,974,635

■ 中間連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	当中間 連結会計期間 2025年4月 1 日から 2025年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2024年4月 1 日から 2024年9月30日まで
売上高	3,868,287	3,966,990
売上原価	2,329,611	2,246,230
売上総利益	1,538,675	1,720,759
販売費及び一般管理費	1,559,637	1,705,744
営業利益又は営業損失(△)	△ 20,961	15,015
営業外収益	88,744	43,340
営業外費用	9,616	50,144
経常利益	58,166	8,210
特別利益	—	89,255
特別損失	292	—
税金等調整前中間純利益	57,873	97,465
法人税、住民税及び事業税	65,302	12,275
法人税等調整額	△ 39,173	33,335
中間純利益	31,744	51,854
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△ 114	△ 6
親会社株主に帰属する中間純利益	31,859	51,860

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	当中間 連結会計期間 2025年4月 1 日から 2025年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2024年4月 1 日から 2024年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,583	834,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 213,130	△ 211,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 63,424	△ 89,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 15,297	△ 67,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 182,269	466,297
現金及び現金同等物の期首残高	4,688,875	4,840,626
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,506,606	5,306,924

■ 会社概要

商 号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創 業	1951年4月1日
設 立	1953年12月11日
資 本 金	951,799千円
本 社 事 務 所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事 業 所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所 川崎事業所
主 な 事 業 内 容	産業用各種スイッチの製造・販売
連 結 子 会 社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷（上海）开关有限公司 NKK Switches Europe GmbH NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关（东莞）有限公司
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上 場 取 引 所	東京証券取引所

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大 橋 智 成
取締役副社長	大 橋 宏 成
取 締 役	海 老 沼 博 行
取 締 役	芦 澤 直 太 郎 (社外)
取 締 役	津 留 崎 貴 子 (社外)
監 査 役	青 木 明 裕
監 査 役	内 木 雅 彦 (社外)
監 査 役	齋 藤 亨 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	574名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
有限会社ビッグブリッジ	132	16.04
株式会社TNNアドバイザーズ	42	5.13
株式会社三井住友銀行	40	4.98
大橋 宏成	30	3.72
大橋 尚子	28	3.41
内藤 征吾	25	3.04
大橋 智成	20	2.50
大橋 千津子	20	2.44
久保田 正明	20	2.43
富岡 友子	19	2.37

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

